

2006 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">文化財研究法 2B</p>	<p>対象学科・学年</p> <p style="text-align: center;">文学部文財2 回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">小林 典子</p>				
<p>授業テーマ</p> <p style="text-align: center;">西洋美術作品を通してみる文化財研究入門II</p>						
<p>授業の概要と目標</p> <p>文化財とは何で、その研究方法とはどのようなものであるのか。西洋の絵画・彫刻・建築作品という具体的な表現媒体をとりあげながら、文化財研究に必要な基礎的知識と分析の方法を学習します。文化財研究をはじめるにあたってとりわけ重要なのは、素材である作品群をまず見ること、知ることであり、ついで、各作品に即した解釈の知識と方法を学ぶことにあります。授業では、ルネサンスから現代までの一級の作品を、ビデオをはじめとする視聴覚メディアを用いつつ観賞しながら、現時点に至るまでの作品研究史を概観していきます。</p>						
<p>評価方法</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">授業への参加意欲や小レポート</td> <td style="text-align: right;">40%</td> </tr> <tr> <td>期末レポート</td> <td style="text-align: right;">60%</td> </tr> </table>			授業への参加意欲や小レポート	40%	期末レポート	60%
授業への参加意欲や小レポート	40%					
期末レポート	60%					
<p>テキスト</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>				
<p>参考書</p> <p>『美術の歴史』 授業中に適直指示</p>	<p>著者</p> <p>H・ジャンソン&カウマン</p>	<p>出版社</p> <p>創元社</p>				
<p>授業スケジュール・内容</p> <p>1.開講にあたって：授業プログラムとオリエンテーション</p> <p>2～6 「西洋美術作品を知る」</p> <p style="margin-left: 20px;">IV 近代世界 ①革命と復活</p> <p style="margin-left: 40px;">②ロマン主義</p> <p style="margin-left: 40px;">③写実主義と印象主義</p> <p style="margin-left: 40px;">④後期印象主義</p> <p style="margin-left: 40px;">⑤現代の美術</p> <p>7 まとめ</p>						